

事務事業分析シート

No1

事務事業名	管理費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(18年度)		管理費(45-06-50-01)			
事務事業の種類	○ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	○ 昭和 ○ 平成		年度	根拠	
終期設定	○ 有 ● 無		年度	法令等	
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	計画	(非計画)
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	図書館施設の適切な維持管理により、利用者サービスの充実を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	・図書館利用者に対するサービスの充実を図るため、施設の適切な維持管理を行う経費等を計上				
	年 度	1	5	1	7
	電 気 料 金	21, 464, 470円		20, 643, 242円	
	ガ ス 料 金	2, 643, 966円		3, 213, 470円	
	水 道 料 金	3, 113, 876円		3, 525, 074円	
経過	平成12年第一回定例会、及び第二回定例会に於いて議会より図書館のあり方に関する意見要望を受け、平成13年度に図書館のあり方に関する庁内検討組織を設置した。当該検討組織により平成13年度については、公共図書館のあり方、区立図書館の現状と課題等について調査、検討を行い、平成14年度については、これからの図書館に求められる機能、これからの図書館サービスのあり方等について引続き調査、検討を実施した。さらに平成15年第二回定例会、自民党の代表質問(斉藤泰紀議員)において、図書館の充実についての意見要望を受けており、15・16年度についても、中央館の建設等の課題を視野に、引続き「これからの図書館サービスのあり方」について調査検討を行った。17年度は、先進図書館におけるサービスや機能の調査を行うとともに、区民を中心とした学識経験者を含めた懇談会の設置など、新たな図書館に関する検討を行った。また、地域館の機械警備を平成16年9月1日から実施した。				
必要性	区立図書館5館全ての施設に伴う、建物及び設備に係る保守、維持管理等について、必要とする経費である。				
実施方法	(<u>直営</u>) 一部委託 全部委託) (直営の場合 (<u>常勤</u>) 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	76,642	77,585	74,134	72,892	70,672	68,233	65,742
	①決算額(18年度は見込み)	73,761	67,788	67,498	63,729	63,163	58,539	62,717
	②人件費						26,959	
	【事務分担量】(%)						320	
	合計(①+②)	73,761	67,788	67,498	63,729	70,672	68,233	65,742
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(特定財源)	423	379	376	336	316	310	342
一般財源	73,338	67,409	67,122	63,393	70,356	67,923	65,400	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	入館者数	1,142,227	1,084,844	1,103,180	1,137,114	1,123,777	1,171,576	
	個人総貸出点数	1,538,842	1,479,569	1,518,772	1,590,675	1,667,445	1,675,071	
	住基人口(翌年1月1日)	172,265	173,246	175,189	175,647	175,726	177,547	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	光熱水費	電気・ガス・水道	27,222	電気・ガス・水道	27,382	電気・ガス・水道	29,922
	一般需用費	物品修繕	82	物品修繕	218	物品修繕	325
	役務費	電話料・地域館受水槽清掃	4,339	電話料・地域館受水槽清掃	4,030	電話料・地域館受水槽清掃	4,497
	委託費	南千住図設備保守・建物維持管理・機会警備業務委託	31,136	南千住図設備保守・建物維持管理・機会警備業務委託	25,797	南千住図設備保守・建物維持管理・機会警備業務委託	30,614
	使用料及び賃借料	資料貸出手続確認装置賃借	384	資料貸出手続確認装置賃借	384	資料貸出手続確認装置賃借	384
	備品購入費			AED(自動体外式除細動器)	731		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	一人当たりに対する経費(円)	56	50	53	50	(管理費＋備品整備費)÷入館者
	入館者数(人)	1,123,777	1,171,576	1,240,000	1,270,000	サービスの充実により入館者数10%増をめざす
	区民一人当り個人総貸出点数	9.4点	9.4点	9.5点	10.3点	個人貸出総点数÷住基人口

問題点・課題	・施設の老朽化が進む中、施設管理に関する全体的な経費の抑制を図ることは困難であるが、効率的な選書や専門書の充実、積極的な図書館PRにより入館者数の増に努めることにより、入館者一人あたりに係るコストの削減を図る。 ・地域館の老朽化、バリアフリー化に未対応、本をゆったりと読むスペースが少ない等、滞在型の魅力ある読書空間を求める声強い。汐入地域や駅前でのサービスポイントの設置、地域館のリニューアル計画を含めた中央館及び地域館の整備について検討していく必要がある。
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	予約図書受取り・貸出用サービスポイントの設置、地域館リニューアル計画の策定	区としての方向性の決定
②	選書の充実や積極的な図書館PR	来館者の満足度の向上
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、必要である。

議会質問状況(要旨)	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	備品整備費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(18年度)	備品整理(45-12-14-01)				
事務事業の種類	☐ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業				
開始年度	○昭和 ○平成	年度	根拠		
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 <u>非計画</u>
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	事業等に必要な備品を整備することにより、適切な図書館運営を図る。				
対象者 等	図書館利用者				
内容	館の管理・運営に必要な備品購入費を計上				
経過					
必要性	図書館としての、管理上必要備品を適時年度に計上する。				
実施 方法	(<u>直営</u>) 一部委託 全部委託) (直営の場合 (<u>常勤</u>) 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	1,260	640	48	202	56	51	0
	①決算額(18年度は見込み)	1,034	640	48	192	56	34	
	②人件費						0	
	【事務分担量】(%)						0	
	合計(①+②)	1,034	640	48	202	56	51	0
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,034	640	48	202	56	51	0	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	備品購入費	電気除湿機	56	スチールブックトラック	34		0

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
	①	一人当たりに対する経費(円)	56	50	53	50	(管理費＋備品整備費)÷入館者
	②						
	③						

問題点・課題	各図書館の書架等については、老朽化してきたものもあり、今後計画的に買い換え等の整備を進める必要がある。
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	各図書館のリニューアル計画に合せた書架等の計画的な整備	親子で楽しめる読書環境の整備
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	図書館運営のため必要である。

議会 (要旨)			
------------	--	--	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書購入費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	中村 順	内線	436
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(18年度)	図書購入費(45-12-28-01)				
事務事業の種類	☐ 新規事業 (19年度 18年度) ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業				
開始年度	☐ 昭和 ☐ 平成	年度	根拠	図書館法	
終期設定	☐ 有 ☒ 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	(区独自基準)	計画区分	計画 ☒ 非計画
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	図書館を運営していく上での基本的要素である資料を充実し、利用者に対するサービスを向上させる。				
対象者 等	図書館利用者				
内容	図書館資料を購入するための経費を計上する。 図書館サービスの中で最も基本となるものは、区民への資料提供であり、資料の収集内容によって、図書館のサービス内容が決まるともいえる。多様化・高度化するニーズに的確に対応し、積極的に資料を収集し情報を提供している。 資料の購入方法 - 本については、毎日、書店組合を通し、専門書から一般書まで、全分野にわたる図書館向け新刊本の配本がある。 - 毎週火曜日、各図書館の代表者からなる、本の選定会議を開催し、配本された本の内容を確認しながら、選書を行い、その結果により書店組合に発注を行っている。				
経過					
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、積極的に資料を収集し情報を提供していく必要がある。				
実施 方法	(☒ 直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 ☒ 常勤 ☐ 非常勤 ☐ 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	78,881	74,884	71,222	70,951	71,050	71,050	73,570
	①決算額(18年度は見込み)	70,892	67,254	69,057	68,435	68,385	66,497	66,213
	②人件費						37,676	
	【事務分担量(職員数)】						1,110	
	合計(①+②)	70,892	67,254	69,057	68,435	68,385	104,173	66,213
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	70,892	67,254	69,057	68,435	68,385	104,173	66,213
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	図書雑誌蔵書冊数	682,332	680,849	690,092	700,898	707,220	700,301	
	図書雑誌個人貸出冊数	1,284,357	1,237,355	1,271,077	1,326,715	1,351,568	1,395,858	
	図書購入冊数	38,392	37,444	35,100	36,197	37,149	36,335	
	雑誌購入冊数	17,473	18,208	17,552	17,446	17,422	17,035	
	住基人口(翌年1月1日)	172,265	173,246	175,189	175,647	175,726	177,547	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	一般需用費	一般書・児童書	53,307	一般書・児童書	50,650	一般書・児童書	58,788
		雑誌(603種)	11,291	雑誌(609種)	12,121	雑誌(603種)	12,644
		新聞(22種)	2,720	新聞(22種)	2,656	新聞(22種)	4,078
		追録	853	追録	856	追録	844
		官報	216	官報	216	官報	216

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	区民一人当たり蔵書冊数	4.0冊	3.9冊	4.0冊	4.0冊	蔵書冊数÷住基人口
②	区民千人当たり図書購入冊数	211.4冊	204.7冊	209.6冊	210.0冊	年間購入冊数÷住基人口千人
③	蔵書回転率	1.9回	2.0回	2.0回	2.5回	年間貸出冊数÷蔵書冊数

問題点・課題	財政状況が極めて厳しいなかで、利用者の新刊図書や専門書への要望は根強いものとなっており、予約も激増している ので、選書の質を一層向上させる必要がある。図書館資料収集基準を策定するとともに、資料毎の選択基準を作成する 過程で職員の選書能力の向上を図る必要がある。また、施設規模に限りがあり、蔵書数は増やせない状況にある。このた め、蔵書数は現状維持の状況でも、常に新鮮で魅力的な書架を維持するために、資料の更新・除籍や不必要な複本のリ サイクルによる処理などとともに、新刊を購入することが課題となる。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	各資料毎の選択基準の作成	資料の更新と職員の選書能力の向上
②	ビジネスやレファレンス等用資料の充実	区民のニーズや利便性の充足
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	図書館サービスの基礎である図書や資料の充実を図るため、必要性が高い。

議会 (要旨) 状況	
------------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	視聴覚費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	鬼久保 一茂	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	視聴覚費（４５－１２－４２－０１）				
事務事業の種類	○ 新規事業（19年度 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成	37 年度	根拠法令等	図書館法第3条 荒川区立図書館館則第2条	
終期設定	○ 有 ● 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	（区独自基準）	計画区分	計画（非計画）
行政評価事業体系	分野				
	政策				
	施策				
目的	図書館において、視聴覚資料を提供し、利用者サービスの充実をはかる。				
対象者等	図書館利用者				
内容	16ミリ映写機検査（年1回） 16ミリ映写機操作講習会開催（年1回） CD・カセットテープ・ビデオテープ等の視聴覚資料の購入と貸出 各種消耗品の購入（CDケース・CD貸出袋・CD仕切版、16ミリ映写機用消耗品、ビデオテープ消耗品等） 映画会用16フィルム借上げ 【平成17年度視聴覚資料の貸出数】 CD 228,589 ビデオテープ 35,310 カセットテープ 15,314 16ミリフィルム 160 ・CD・DVDは、毎月1回、各図書館の担当者からなる選定会議を開催し、新譜リストより選定を行い、発注を行っている。				
経過	昭和45年度から16ミリフィルムの貸出実施 昭和61年度からCDの貸出実施 昭和63年度からビデオテープの貸出実施 昭和63年度から16ミリ映写機の検定実施 平成10年度から16ミリ映写機の操作講習会が社会教育課から図書館に移管となった。				
必要性	図書館が、図書以外の資料として視聴覚資料を①教育的利用②鑑賞的利用③趣味的利用として、図書館利用者に提供することにより、より多くの利用者サービスの向上を図ることができるため必要である。				
実施方法	（（直営）一部委託 全部委託） （直営の場合 （常勤 非常勤） 臨時職員） 16ミリ映写機検定は、区内各施設が所有する映写機について、年1回専門技術者による点検・整備を図書館で実施している。（ひろば館・学校・官公署等） 16ミリ映写機操作講習会は、外部から民間技術者を招き、年1回3日間の日程で実施している。 CD・カセットテープ・ビデオテープ等の活字情報以外の一般利用者への貸出、及び団体登録利用者への16ミリフィルム・教材用ビデオテープの貸出業務を実施している。（平成16年度末団体登録数は592団体）				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	13,967	13,260	12,329	11,812	11,613	11,260	11,260
	①決算額(18年度は見込み)	11,442	11,051	11,967	10,840	11,276	10,083	10,131
	②人件費						11,570	
	【事務分担当量】(%)						250	
	合計(①+②)	11,442	11,051	11,967	10,840	11,276	21,653	10,131
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
一般財源	11,442	11,051	11,967	10,840	11,276	21,653	10,131	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	16ミリ映写機検定実施台数	145	89	83	74	71	68	
	16ミリ映写機操作講習会参加人数	-	19	17	14	9	8	
	視聴覚資料貸出数(本)	253,697	240,893	247,695	263,960	262,053	279,213	
	視聴覚資料購入数(本)	3,035	3,289	2,340	2,800	3,976	3,416	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	65	16ミリ映写機検査技師謝礼	52	16ミリ映写機検査技師謝礼	65
		16ミリ映写機操作講習会講師謝礼	81	16ミリ映写機操作講習会講師謝礼	81	16ミリ映写機操作講習会講師謝礼	81
	一般需用費	CD購入	7,702	CD購入	6,608	CD購入	7,375
		カセットテープ購入	290	カセットテープ購入	119	カセットテープ購入	125
		ビデオテープ購入	1,733	ビデオテープ・DVD購入	1,162	ビデオテープ・DVD購入	1,970
		CD貸出袋等消耗品	997	CD貸出袋等消耗品	1,006	CD貸出袋等消耗品	1,189
		物品修繕	93	物品修繕	78	物品修繕	140
	使用料及び賃借料	16ミリフィルム借上	315	16ミリフィルム借上	315	16ミリフィルム借上	315

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	DVD蔵書移行率(%)	0	3.3	10	50	DVD蔵書数÷ビデオ蔵書数 (17年度末ビデオ蔵書数)
②						
③						

問題点・課題	16ミリ映写機の製造は中止されている。16ミリフィルムは、学校・保育園・町会等から教育用、映画会用としての団体利用が多くある。今後、団体利用者にサービスを提供していくためには、プロジェクターなどの機器を導入していく必要がある。 映像資料は、発行の主流がビデオテープからDVDに移行している。利用者ニーズの対応及び図書館として適切かつ購入可能な資料であるか等の調査検討を行ない、DVDを導入していく。 音響資料は、高齢者を中心にカセットテープの貸出が多いが、新譜は全てCDとして発売されるもので、カセットテープ独自のものはほとんどない状況である。また、資料の保存性・効率的な資料収集の面からも、カセットテープからCDに移行していく必要がある。 16ミリフィルムを借上て、夏休み子ども映画会を上映してきたが、費用対効果を考慮すると全館で統一行事として開催する意味がなくなってきた。体験型おはなし会、科学遊び、折り紙教室、図書館で所有する16ミリフィルムでの映画会等、各館で子ども達が、本や読書に親しむきっかけとなる行事を実施していく。
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	プロジェクタ等機器の検討購入	資料の効率的な収集
②	ビデオからDVD、カセットテープからCDへの移行	資料の効率的な収集及び保存
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	図書館サービスの基礎である資料の充実を図るため、必要性が高い。

議会(要旨)状況	
----------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	障害者サービス費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	鬼久保 一茂	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(18年度)	障害者サービス費 (45-12-56-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成	56 年度	根拠法令等	図書館法第3条 荒川区立図書館館則第2条	
終期設定	○ 有 ● 無		年度		
実施基準	法令基準内	都基準内	〈区独自基準〉	計画区分	計画 (非計画)
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	視覚障害者に対する録音図書・点字図書の充実を図り、障害を持つ利用者のサービス向上に努める				
対象者等	何らかの障害のため、自力では図書館利用が困難な区民				
内容	図書資料の宅配サービス 何らかの障害により、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料(本・カセット・CD・ビデオ)を自宅まで配達するサービス。電話で申し込みのあった図書資料を1ヶ月貸出。利用者の求めに応じて本のリストを持って行く場合もある。 録音図書の製作と貸出 図書を音声化したものを録音図書という。利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を著作者の承諾を得て作成。製作はボランティアに依頼しており、音訳者は読み方の確認をしてから、内容を録音し、校正を経てテープを完成させる。主に作成した録音図書は小説・エッセイ・実用書である。完成した録音図書は視覚障害者等の利用者に貸出を行っている。また、製作できる冊数が限られるため、全国の点字図書館・公共図書館と相互貸借をしている。 対面音訳サービス 目の不自由な方に、必要な図書資料をその場で読むサービス。録音図書と比べ必要な情報が即時に得られ、不明な点や字句を確認したり、その場で辞書を引いて調べることが出来るため、柔軟で効率的な読書が可能になるメリットがある。 音訳者養成講座の開催 録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座(初級・中級)を毎年実施している。 その他、区内の福祉施設(のぞみの会・ひまわり作業所等)に、図書の団体貸出の実施や福祉まつりに参加している。				
経過	「図書館利用に障害のある人々へのサービス」の基本計画を昭和56年12月に策定した。 障害者サービス事業については、昭和56年国際障害者年を契機に企画・検討され、昭和57年4月から開始した。 家庭配本と対面朗読(現在は対面音訳)については、昭和57年4月から実施した。 点字図書の作成については、昭和59年1月から実施した。				
必要性	何らかの障害のある方に、より多くの図書資料を提供するために必要である。				
実施方法	(<u>直営</u>) 一部委託 全部委託) (直営の場合 (<u>常勤</u> <u>非常勤</u>) 臨時職員) 点字図書・テープ図書の作成は、ボランティア(養成講座修了者及び受講者)を活用している。 音訳者養成講座 初級 概ね3年程度継続して受講させ、音訳者としてのレベルアップを図っている。 中級 初級終了者を対象に音訳者として、より高度の技術の習得を図る。				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	2,954	2,724	2,669	2,495	2,423	2,326	2,506
	①決算額(18年度は見込み)	2,402	2,416	2,487	2,392	2,244	2,159	2,373
	②人件費						4,163	
	【事務分担量(職員数)】						70	
	合計(①+②)	2,402	2,416	2,487	2,392	2,244	6,322	2,373
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,402	2,416	2,487	2,392	2,244	6,322	2,373
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	宅配サービス実績回数	373	364	623	441	421	478	
	録音図書作成実績(本)	268	282	296	281	273	268	
	対面音訳実績(人)	14	23	24	26	66	65	
	音訳者養成講座参加人数実績(人)	254	263	319	250	207	280	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	280	音訳者養成講座講師謝礼	280	音訳者養成講座講師謝礼	280
		テープ図書作成校正謝礼	654	テープ図書作成校正謝礼	621	テープ図書作成校正謝礼	696
	一般需用費	大活字本他消耗品	1,221	大活字本他消耗品	985	大活字本他消耗品	1,032
		その他用品	68	その他用品	256	その他用品	301
	役務費	郵送料	21	郵送料	17	郵送料	18
	備品購入費					DAISY(機器)	179

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	障害者サービス利用者登録率(%)	6	7	8	20	登録者(115)÷対象者(1,857) (肢体不自由、視覚障害1、2級 手帳所持者)
②	DAISY図書貸出普及率(%)	0	1	10	50	DAISY図書÷テープ図書(14、 15、16年度の平均貸出数)

問題点・課題	点字図書作成奉仕者及び音訳者の高齢化が問題点としてあげられる。特に点字図書の作成については、点訳者養成講座の事業が平成9年度をもって廃止となったため、新しい点訳者の育成をいかに行なっていくかが課題となっている。 録音図書の製作は、カセットテープによる作成となっているが、利便性(利用者が使用し易い)・耐久性(資料の劣化を防ぐ)・保管性(収録時間が長い)等に優っているデジタル録音方式として開発された「DAISY」を導入して、平成18年度からデジタル化を進めていく。 障害のある方に、より図書館を利用いただくために、図書館が行なっている障害者サービス事業を紹介して、利用者がどのようなサービスを図書館に求めているのかを各関係機関・関係団体と連携を諮り、調査検討を行い事業を進めていく必要がある。 入院している子供達へのサービスとして、「子ども読書活動推進計画」に取組まれている本の病院団体貸出や病院でのおはなし会を実施に向けての課題について検討していく。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	障害者サービス事業の積極的な紹介	図書館利用の促進
②	録音図書のDAISY化	利便性の向上と資料の効率的な収集及び保存
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	障害者サービスを充実させるため、必要性が高い。

議会(要旨)状況	
----------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書館オンラインシステム		部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
			担当者名	中村 順	内線	436
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード	図書館オンラインシステム（４５－１２－８４－０１）					
事務事業の種類	○ 新規事業（19年度 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業					
開始年度	○ 昭和 ○ 平成		年度	根拠	図書館法	
終期設定	○ 有 ● 無		年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 <区独自基準>			計画区分	計画 (非計画)	
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化				
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進				
	施策	図書館サービスの充実				
目的	図書の、返却、予約等のコンピュータシステムを円滑に運用し、利用者に対するサービスを向上させる。					
対象者 等	図書館利用者					
内容	図書館コンピュータシステムの運用及びそれに付随する経費を計上する。 荒川区立図書館5館をオンラインシステムで結ぶことにより、図書館利用者はどこの館でも貸出し、返却、予約等ができる。資料の検索、予約、貸出期間の延長手続等はパソコン、携帯からインターネットからも可能となっている。また、図書館のIT化のため、無線LANインターネットサービスを行っている。 図書館コンピュータシステムの機器は、サーバー機器8台、端末装置65台、プリンター14台、レシートプリンター48台、ハンディ端末12台等である。現行機器のリース期間は、平成21年3月31日までとなっている。 利用者に提供するまでの、選択、発注、装備、受入、回送等の一連の業務については、図書館システムとして集中処理方式により実施している。図書やAVの書誌データについては、電子化された書誌データとしてニッパンマーク、NHKマークを購入して活用している。資料の装備については、一括して業務委託（集中装備）により行っている。そのための、バーコードや装備用品を購入している。また、受入・予約資料の回送や他館への返却資料の回送のため、配本車を午前午後1便ずつ5館を運行委託し、資料を迅速に届けている。					
経過	平成 5年10月 1日 図書館コンピュータシステム3館第一次稼働、集中処理による運用開始 平成 6年 4月 1日 図書館コンピュータシステム全館第二次稼働 平成10年 5月 1日 新南千住図書館開館（祝日開館実施） 平成11年 4月10日 新図書館コンピュータシステム稼働 平成13年 7月 7日 インターネットによる検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設 平成14年 2月18日 携帯による検索・予約サービス開始、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始 平成14年 9月 8日 南千住図書館で無線LANインターネットサービス開始 平成15年 7月 1日 全館で無線LANインターネットサービス開始 平成15年 8月25日 住基カードによる図書館利用登録開始 平成16年 4月 1日 新図書館コンピュータシステム稼働。システム機器とインターネットの契約を一本化。 平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時に連絡メール自動送信、メール督促等開始 平成18年 7月14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始					
必要性	現行の図書館システムを支え、IT化を推進するための必要な経費である。					
実施 方法	(直営 一部委託 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)					

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	54,065	63,232	62,396	57,895	57,761	56,034	55,824
	①決算額(18年度は見込み)	47,889	57,917	54,876	53,819	55,802	53,699	55,243
	②人件費						35,202	
	【事務分担当】(%)						980	
	合計(①+②)	47,889	57,917	54,876	53,819	55,802	88,901	55,243
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
一般財源	47,889	57,917	54,876	53,819	55,802	88,901	55,243	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	パスワード登録者数(人)					8,856	11,378	
	WEB予約登録点数		20,857	60,904	93,210	143,815	186,805	
	予約登録点数	80,484	97,522	142,247	181,854	270,553	327,310	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	一般需用費	ニッパンマーク等	5,641	ニッパンマーク等	5,069	ニッパンマーク等	5,810
	役務費	配本車運行等	8,547	配本車運行等	7,737	配本車運行等	9,099
	委託料	CD・図書等装備委託等	10,686	CD・図書等装備委託等	9,964	CD・図書等装備委託等	9,965
	使用料及び賃借料	オンライン・インターネット用機器賃借料	30,929	オンライン・インターネット用機器賃借料	30,929	オンライン・インターネット用機器賃借料	30,950

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	パスワード登録者の割合(%)	16.9	22.1	23.6	25.0	パスワード登録者数÷個人登録者数
②	インターネット予約の割合(%)	53.2	57.0	59.0	66.6	インターネット予約登録点数÷予約登録点数
③						

問題点・課題	・荒川区は全国に先駆けてインターネット予約等ITサービスを実施してきた。その結果、図書館の利用やインターネット予約が急増し、配本車の運搬量も増えてきている。今後の団体貸出等サービスの拡充に合わせて、配本車の運行回数を検討していく必要がある。また、インターネット予約の増加に伴い、予約図書受取り・貸出用サービスポイント設置の検討が必要となっている。 ・現行コンピュータシステムのリース期間は平成20年度をもって終了し、平成21年度から新契約となるので、早い段階からの検討作業が必要となる。エレクトロニクス・ICタグ・IC標準システムの活用を含め、機能の充実について今から検討していく。 ・電子メールアドレス登録者が増加し、図書館側からの情報発信の手段として電子メールを積極的に活用するため、地域資料等の独自のコンテンツも作成も含めて、情報発信サービスの充実が課題となっている。
実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	予約図書受取り・貸出用サービスポイント設置の検討	区としての方向性の決定
②	メルマガや地域資料DB等情報発信サービスの充実	図書館IT化の推進と新たな利用者増
③	平成21年度からのシステムの更新に向けた選定準備	最適な図書館システムの導入

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	利用者の利便性向上を図り、先進的なITサービスを提供するため、必要な事業である。

議会(要旨)状況	
----------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書館事務費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(18年度)	図書館事務費 (45-18-33-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	○ 昭和 ○ 平成	年度	根拠	職員の臨時的任用に関する規則	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 (区独自基準)	計画区分	計画	(非計画)	
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	図書館の円滑な運営を図る				
対象者等	図書館利用者				
内容	臨時職員雇い上げ(夜間、土・日曜日、繁忙期、祝日開館、祝日と重なる月曜日・夏季月曜日臨時開館日対応) 4月の「子ども読書の日」関連事業の実施(4/20～5/8) 図書館フェアの実施(秋の読書週間)(10/21～11/13) 講演会開催(年1回秋の読書週間に児童作家等を招き実施) おたのしみ会(各図書館で毎週水曜日にボランティア及び職員によるおはなし会、毎月第2土曜日に映画会などを実施) 各図書館の運営・維持・管理費 ・図書館カレンダーの作成・配布 図書館案内の作成・配布(大人向け 10,000枚・子供向け 4,000枚印刷) 図書館周辺住居等へのテレビ受信障害対策(CATV) ・空気清浄機保守(管理用) 複写機等賃借(事務用5台) 平成15年1月から全館の資料コピー用複写機をA3版がコピーできるようにした。 平成15年度から定期休館日の月曜が祝日と重なる場合は全館開館し、翌日を休館とした(平成17年度は年4日開館) 平成17年度から南千住図書館において土曜開館の時間延長を試行実施。また、各地域館において祝日開館実施。				
経過	図書館フェアでは、テーマを決めて、全館で展示を行い(17年度のテーマは「来！ぶらり日本一周」、講演会では、童話と昔ばなしのストーリーテリングと江戸紙切りのコラボレーションと題して開催し、図書館を身近に感じてもらい、利用促進を図った。68名の参加者があった。 また、「子ども読書の日」関連事業では、人形劇・折り紙等のイベントや様々な子どもの本を展示・紹介して、読書や図書館への興味を持たせた。 17年度は、文字・活字文化振興法が制定されたことにちなみ、10月27日が「文字・活字文化の日」であることを周知することにより、利用者には今まで以上に本と親しんでもらうようPRした。				
必要性	図書館利用者に対するサービスを向上させる必要がある。				
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託 (直営の場合) 常勤 非常勤 臨時職員 子供向け「図書館あんない」については、館のカウンター上に配置している。また、年度当初新1年生に対して小学校訪問時に配布している。				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	21,182	20,692	21,308	19,351	19,149	18,776	18,937
①決算額(18年度は見込み)	190,101	18,977	20,724	18,403	18,161	17,516	18,579
②人件費						18,430	
【事務分担量】(%)						250	
合計(①+②)	190,101	18,977	20,724	18,403	18,161	35,946	18,579
国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
その他(特定財源)	1,660	1,446	1,324	1,313	1,209	1,215	1,320
一般財源	188,441	17,531	19,400	17,090	16,952	34,731	17,259
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	おたのしみ会参加者数(人)	6,460	6,372	6,412	6,561	6,256	6,580

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
予算・決算の内訳	一般賃金	臨時職員雇上	10,159	臨時職員雇上	10,112	臨時職員雇上	11,638
	報償費	講演会開催関係	178	講演会開催関係	172	講演会開催関係	178
	職員旅費	近接地内旅費	35	近接地内旅費	25	近接地内旅費	55
	一般需用費	館運営維持管理用消耗品	3,471	館運営維持管理用消耗品	3,026	館運営維持管理用消耗品	3,573
	役務費	TV電波障害対策(CATV)	109	TV電波障害対策(CATV)	109	TV電波障害対策(CATV)	109
	委託費	空気清浄機保守	303	空気清浄機保守	303	空気清浄機保守	303
	使用料等	複写機等賃借料	3,823	複写機等賃借料	3,688	複写機等賃借料	2,994
	負担金補助	日本図書館協会会費等	86	日本図書館協会会費等	81	日本図書館協会会費等	86

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	一人当たりに対する経費(円)	16	15	16	16	決算額÷入館者
	②					
	③					

問題点・課題	図書館フェア・おはなし会等のイベントを効果的に実施することにより入館者の増加を図る。 また、子ども読書活動推進計画の策定に伴い、図書館全体における各種イベントの効率的な実施方法を検討する。
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	子ども読書推進活動の一層の推進、ひろば館・ふれあい館との連携による子どもの身近な場所におけるサービスの提供	子どもの読書の推進及び図書館利用の促進
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、必要である。

議会(要旨)質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書館非常勤関係費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子																																									
		担当者名	吉野 友博	内線	436																																									
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(18年度)	図書館非常勤関係費 (45-18-66-01)																																													
事務事業の種類	○ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業																																													
開始年度	○ 昭和 ● 平成	12 年度	根拠法令等	荒川区教育委員会事務局非常勤職員設置要項																																										
終期設定	○ 有 ● 無	年度																																												
実施基準	法令基準内	都基準内	(区独自基準)	計画区分	計画 (非計画)																																									
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化																																												
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進																																												
	施策	図書館サービスの充実																																												
目的	図書館勤務経験者や司書(司書補を含む)など幅広い図書に関する知識を持つ優秀な人材を非常勤職員として採用し、カウンター業務などの図書館運営全般に関わることで、経費節減を図りながら、図書館のサービス向上につなげていく。																																													
対象者等																																														
内容	非常勤職員の採用に関わる経費を計上																																													
	非常勤の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>平成12年4月</td> <td>3名採用</td> <td></td> <td></td> <td>常勤職員</td> <td>2名減</td> </tr> <tr> <td>平成13年4月</td> <td>15名採用</td> <td>継続者含め</td> <td>計18名</td> <td>〃</td> <td>10名減</td> </tr> <tr> <td>平成14年4月</td> <td>15名採用</td> <td>〃</td> <td>計33名</td> <td>〃</td> <td>10名減</td> </tr> <tr> <td>平成15年4月</td> <td>9名採用</td> <td>〃</td> <td>計42名</td> <td>〃</td> <td>6名減</td> </tr> <tr> <td>平成16年4月</td> <td>15名採用</td> <td>〃</td> <td>計57名</td> <td>〃</td> <td>10名減</td> </tr> <tr> <td>平成17年4月</td> <td>9名採用</td> <td>〃</td> <td>計66名</td> <td>〃</td> <td>6名減</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合 計</td> <td></td> <td>44名減</td> </tr> </table>				平成12年4月	3名採用			常勤職員	2名減	平成13年4月	15名採用	継続者含め	計18名	〃	10名減	平成14年4月	15名採用	〃	計33名	〃	10名減	平成15年4月	9名採用	〃	計42名	〃	6名減	平成16年4月	15名採用	〃	計57名	〃	10名減	平成17年4月	9名採用	〃	計66名	〃	6名減	合 計				
平成12年4月	3名採用			常勤職員	2名減																																									
平成13年4月	15名採用	継続者含め	計18名	〃	10名減																																									
平成14年4月	15名採用	〃	計33名	〃	10名減																																									
平成15年4月	9名採用	〃	計42名	〃	6名減																																									
平成16年4月	15名採用	〃	計57名	〃	10名減																																									
平成17年4月	9名採用	〃	計66名	〃	6名減																																									
合 計					44名減																																									
経過	非常勤職員の採用については、平成11年度に検討会で検討し、平成12年4月に町屋図書館に3名を始めて導入した。平成13年度に全館へ導入し、14年度で当初の配置を完了し、南千住図書館に9名、地域館には各6名が配置されている。 平成15年度から17年度で新たに33名を採用し、各館に配置した。 最終的に、南千住図書館18名、地域館には各12名を配置した。																																													
必要性	図書館運営上、コスト削減を図りながら良質のサービスを提供するためには、非常勤職員の配置は不可欠である。																																													
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託 (直営の場合 常勤 (非常勤) 臨時職員)																																													

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	7,742	46,472	85,123	108,309	143,898	167,677	167,774
	①決算額(18年度は見込み)	7,326	44,722	83,248	105,037	142,741	164,746	167,774
	②人件費						21,707	
	【事務分担量】(%)						780	
	合計(①+②)	7,326	44,722	83,248	105,037	142,741	186,453	167,774
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(特定財源)	0	0	0	0	316	342	342
一般財源	7,326	44,722	83,248	105,037	142,425	186,111	167,432	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	非常勤職員採用(人)	3	15	15	9	15	9	
	非常勤職員総数(人)	3	18	33	42	57	66	66

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報酬	非常勤職員報酬	128,066	非常勤職員報酬	147,840	非常勤職員報酬	149,530
	共済費	非常勤職員社会保険料	14,200	非常勤職員社会保険料	16,639	非常勤職員社会保険料	18,017
	特別旅費	非常勤職員旅費	58	非常勤職員旅費	80	非常勤職員旅費	227
	一般需用費	非常勤用椅子(5脚)	117	非常勤用椅子(3脚)	51		
	備品購入費	非常勤用机(5台)	302	非常勤用机(3台)	136		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	非常勤職員司書有資格者率(%)	79	80	80	100	16年57人中45人・17年66人中53人
②						
③						

問題点・課題	・現在、全館で66名の非常勤職員が働いているが、毎年数名が退職する現状があり、その補充に今後毎年採用試験を実施する必要がある。 ・平成17年度に非常勤体制の一定の完成を見た。非常勤職員の主任制及び公平な人事評価制度をさらに検討していくことが必要。
他区の実施状況	(実施 17 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	非常勤職員の主任制及び公平な人事評価制度、常勤職員のリーダーシップと資質の向上について検討していく	職員体制の整備と資質の向上
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	図書館サービスを支える非常勤職員の役割は重要である。

議会(要旨)質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書館サービスの充実	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(18年度)	図書館サービスの充実 (45-21-20-01)				
事務事業の種類	☒ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ☐ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業				
開始年度	○昭和 ●平成	17年度	根拠		
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 (非計画)
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	南千住図書館の土曜日時間延長、地域館の祝日開館を実施し、利用者サービスの充実を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	・図書館利用者に対するサービスの充実を図るため、南千住図書館で、土曜日時間延長(午後7時30分)51日実施。				
経過	平成18年度より、上記必要経費は、一次経費の管理費等に組替計上する。				
必要性	区民の利便性を確保するため、祝日開館や南千住図書館の土曜日時間延長は必要な経費である。				
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額					0	2,247	0
	①決算額(18年度は見込み)					0	1,933	0
	②人件費						431	
	【事務分担量】(%)						5	
	合計(①+②)	0	0	0	0	0	2,364	0
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	0	0	0	2,364	0	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	入館者数(人)	1,142,227	1,084,844	1,103,180	1,137,114	1,123,777	1,171,576	
	貸出者数(人)	424,005	417,484	432,903	458,238	483,431	515,012	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	賃金		0	一般賃金	1,283		0
	役務費			役務費	144		
	委託料			清掃	166		
				その他委託	340		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	貸出者数(人)	483,431	515,012	520,000	550,000	
②	南千住図書館土曜夜間貸出者数(人)		125	140	150	土曜夜間一日平均貸出者数
③	南千住図書館夜間平均貸出者数(人)		111	120	130	夜間一日平均貸出者数

問題点・課題	・南千住図書館図書館の夜間延長における利用の増を踏まえ、夜間延長を検討する必要がある。 ・図書館サービスの空白地域を解消するため、汐入地域におけるサービスポイントの設置について検討する必要がある。
他区の実施状況	(実施 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	開館時間の夜間延長の検討	利用増と区民の利便性の確保
②	汐入地域における図書館のサービスポイント設置の検討	利用増と区民の利便性の確保
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	開館時間延長等利用者の利便性向上を図るため、極めて優先度の高い事業である。

議会(要旨)質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	図書館に関する調査		部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子	
			担当者名	中村 順	内線	436	
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(18年度)	図書館に関する調査 (45-22-20-01)						
事務事業の種類	☒ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ☐ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業						
開始年度	○昭和 ●平成		17年度	根拠			
終期設定	●有○無		17年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	非計画	
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化					
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進					
	施策	図書館サービスの充実					
目的	高度情報化や少子高齢化社会の急激な進展により、区民生活を取り巻く環境が大きく変化する中、区民の図書館に求めるサービスは多様化・専門化している。このような状況に対応できる、これからの図書館のサービスや機能など今後の方向性についてとりまとめるための調査を行う。						
対象者等							
内容	(事前調査) 既存資料調査及び先進図書館調査を行う。 (懇談会の設置) 懇談会は、区民が求めるサービスや図書館のあり方など今後の方向性についてとりまとめる。懇談会の委員は、区民・学識経験者・区議会議員等とし、区民については公募を行う。 (懇談会の開催) 8月31日 第1回 委員委嘱、荒川区立図書館視察 9月15日 第2回 浦安市立中央図書館視察 11月2日 第3回 現状と課題Ⅰ 12月17日 第4回 現状と課題Ⅱ 1月28日 第5回 現状と課題Ⅲ (アンケート調査) 平成18年1月 日から 日、区役所及び荒川区立図書館で実施。614名より回収。 2月27日 第6回 これまでの検討についての総括 3月31日 第7回 これからの図書館調査懇談会報告書のとりまとめ						
経過							
必要性							
実施方法	(<u>直営</u>) 一部委託 全部委託 (直営の場合 <u>常勤</u> 非常勤 臨時職員)						

予算・決算額等の推移	(単位:千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額					0	2,000	0
①決算額(18年度は見込み)					0	1,701	0
②人件費						3,448	
【事務分担量】(%)						40	
合計(①+②)	0	0	0	0	0	5,149	0
国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	5,149	0
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
						7	

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費			懇談会委員謝礼	1,103		
	職員旅費			先進図書館視察等	481		
	特別旅費			先進図書館視察等(非常勤)	98		
	食糧費			懇談会用	16		
	一般需用			報告書作成用消耗品	0		
	使用料及び賃借料			懇談会会場使用料	3		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	懇談会開催回数	—	7回	—		
②						
③						

問題点・課題	会議内容をいかにして今後のサービスに反映させるか。
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	懇談会報告で提起された、「図書館サービスの充実」とともに、情報発信サービス、ビジネス支援サービス、医療・健康情報提供サービス等「新しい図書館サービスへの取り組み」にできることから順に取り組んでいく。	図書館の新たなサービスを確立する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
D	懇談会は平成17年度に事業終了。

議会(要質)問状況	平成15年二定 「機能を充実した新しい図書館の建設について」 「現行の図書館体制の見直しについて」 平成16年三定 「中央図書館の早期設置について」 平成18年一定 「中央図書館構想の策定について」
-----------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	営繕費(一般分)	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	営繕費(一般分)(45-24-33-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業 (○19年度 ○18年度) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	○ 昭和 ○ 平成	年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 (区独自基準)	計画区分	計画 (非計画)		
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	図書館施設の適切な維持管理を図ることにより、利用者サービスを向上させる。				
対象者等	図書館利用者				
内容	各図書館の建物修繕経費				
経過	平成17年度実績 南千住図書館 電動ブラインド設備修繕ほか 荒川図書館 閉架書庫用空調機修繕ほか 尾久図書館 書架転倒防止金具取付修繕ほか 町屋図書館 便所及び書棚照明他修繕ほか 日暮里図書館 冷温水発生機修繕ほか				
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するために不可欠である。				
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	6,104	5,827	5,787	6,880	6,748	6,578	6,488
	①決算額(18年度は見込み)	4,684	5,020	5,106	5,726	6,461	4,699	5,839
	②人件費						6,465	
	【事務分担量】(%)						75	
	合計(①+②)	4,684	5,020	5,106	5,726	6,461	11,164	5,839
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
一般財源	4,684	5,020	5,106	5,726	6,461	11,164	5,839	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	修繕件数(5館総数)	42	47	42	43	53	51	

事務事業分析シート

No2

予算・決算 主要の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	一般需用費	荒川図書館	1,660	荒川図書館	735	荒川図書館	1,098
		尾久図書館	1,357	尾久図書館	1,096	尾久図書館	1,132
		町屋図書館	944	町屋図書館	937	町屋図書館	984
		日暮里図書館	1,205	日暮里図書館	1,230	日暮里図書館	1,291
		南千住図書館	1,295	南千住図書館	700	南千住図書館	1,983

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	一人当たりに対する経費	6	8	8	8	(営繕費の一般分＋施設改修分) ÷入館者
②						
③						

問題点・課題	荒川図書館が昭和37年に開館して、築後44年を経過しているが、他の地域館も老朽化が進んでおり、施設の雨漏り等基本的な部分での経費がかかる傾向がある。
他区の実施状況	(実施 23 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	改修及びリニューアル計画の検討	施設水準の現状維持
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
C	建物の老朽化が進み、施設の維持が必要である。

議会 (要旨) 状況	
------------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	営繕費(施設改修分)	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子
		担当者名	吉野 友博	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(18年度)	営繕費(施設改修分)(45-24-66-01)				
事務事業の種類	☐ 新規事業 (☐ 19年度 ☐ 18年度) ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業				
開始年度	☐ 昭和 ☐ 平成	年度	根拠		
終期設定	☐ 有 ☒ 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	(区独自基準)	計画区分	計画 (非計画)
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進			
	施策	図書館サービスの充実			
目的	図書館施設の適切な維持管理を図ることにより、利用者サービスを向上させる。				
対象者等	図書館利用者				
内容	各図書館の施設改修工事経費 地域館4館の機会警備委託(16年9月から実施する。) 平成17年度9月に老朽化の進んでいる、荒川図書館1階ロビー及び児童室等の塗装工事を実施し、明るいイメージにした。				
経過					
必要性	地域図書館の老朽化が進む中で、施設改修は不可欠である。				
実施方法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 (直営の場合 ☐ 常勤 ☐ 非常勤 ☐ 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	8,203	1,806	1,336	0	3,930	2,963	18,132
	①決算額(18年度は見込み)	7,634	1,452	1,296	0	309	2,573	
	②人件費						0	
	【事務分担量】(%)						0	
	合計(①+②)	7,634	1,452	1,296	0	309	2,573	0
	国(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	都(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
	その他(特定財源)	0	0	0	0	0	0	
一般財源	7,634	1,452	1,296	0	309	2,573	0	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	工事請負費			荒川図書館内部塗装工事	2,573	荒川図書館玄関前バリアフリー解消工事・アスベスト対策工事	6,731
	委託費	地域館4館の機会警備委託	309			尾久図書館アスベスト対策工事	10,996
						日暮里図書館昇降機耐震工事	1,659

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	一人当たりに対する経費	6	8	8	8	(営繕費の一般分+施設改修分)÷入館者
②						
③						

問題点・課題	荒川区立図書館は、南千住図書館を除いて築後26年から44年を経過している古い施設であるため、一例をあげればこれからの高齢化社会に対応できるような施設・設備となっていないなどいろいろな問題を抱えている。そこで「これからの図書館調査懇談会」で出された問題点等も含め、地域館のあり方について検討していく。					
他区の実施状況	(実施 23 区 未実施 区)					

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	施設のリニューアル計画の作成	施設水準の維持、バリアフリー化、読書環境の整備
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明、意見等
B	建物の老朽化対策、バリアフリー化等改修のため必要である。

議会(要旨)状況	
----------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	子ども読書活動推進計画事業費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	北村 美紀子				
		担当者名	坂入 康弘	内線	436				
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（18年度）	子ども読書活動推進計画事業費（45-12-85-01）								
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 19年度 ☒ 18年度） ☐ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業								
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成	18 年度	根拠 法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律					
終期設定	☒ 有 ☐ 無	22 年度							
実施基準	法令基準内	都基準内	☒ 区独自基準	計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画				
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化							
	政策	地域に根ざした生涯学習の推進							
	施策	図書館サービスの充実							
目的	子ども達の読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子ども達が「本に親しむ」きっかけを増やす。								
対象者 等	区民全体								
内容	荒川区子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して下記のような事業を行う。 (1) 家庭での読書活動に対する支援と地域における読書環境の整備 ブックスタート、おはなし会、読み聞かせ講習会、ボランティア養成、団体貸し出しの充実、子ども読書活動推進キャンペーンの実施 等 (2) 小・中学校における取り組み 区立図書館と小・中学校との連携強化、学校図書館サポートボランティア養成講座、図書館職員の学校訪問 等 (3) 区立図書館における取り組み 乳幼児、小学生、中学生・高校生等の子どもの発達段階に応じた読書活動を支援する。 乳幼児受け入れ環境の整備、体験型おはなし会の実施、啓発講演会の実施、（仮）名作朗読会の実施 等								
経過	平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、地方自治体においても「子ども読書活動推進計画」の策定に努めることと規定された。 平成17年7月「（仮）荒川区子ども読書活動推進計画」検討委員会及び作業部会設置 平成18年2月「荒川区子ども読書活動推進計画（素案）」策定 文教委員会報告 及びパブリック・コメント実施 平成18年4月「荒川区子ども読書活動推進計画」策定								
必要性	子ども達の読書離れを改善し、また、子ども達の国語力向上のため、必要である								
実施 方法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託（直営の場合 ☒ 常勤 ☐ 非常勤 ☐ 臨時職員）								

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額							1,914
①決算額（18年度は見込み）							1,914
②人件費							
【事務分担当】（％）							
合計（①+②）	0	0	0	0	0	0	1,914
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）							
一般財源	0	0	0	0	0	0	1,914
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費					講演会講師謝礼	1,130
	一般需用費					消耗品費	64
						印刷製本費	430
	使用料及び賃借料					使用料及び賃借料	43
	備品購入費					ベビーベット	247

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
指標	①	区内の全ての小学生が、「この本が大好き」と言える本に出会えること	—	61.2%	65.0%	80.0%	アンケート調査により測定。22年度までに目標値を達成する
	②	平日に全く読書をしない小・中学生を少なくすること	—	31.3%	30.0%	20.0%	
	③	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	75.5%	71.2%	72.0%	76.0%	子ども読書活動の事業を展開し、登録率10%増をめざす
	④	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	64.3%	59.3%	62.0%	66.0%	

問題点・課題	・子ども読書活動の意義を積極的にPRするため、例年実施している図書館フェアなどとの連携を図りながら、効果的な啓発活動を行う必要がある。 ・おはなし会や講演会などのイベントへの参加者募集の際、子ども達に効果的に周知するため、積極的な情報提供を図る必要がある。 ・「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づいた計画事業の円滑な実施のため、関係各課との連携をはかる必要がある。 ・指標達成度を測定するため、アンケート調査を実施し、その結果により事業の見直しを図るなど、事業全体の効果を高める必要がある。
他区の実施状況	（実施 12 区 未実施 10 区） 新宿、北、台東、大田、足立、練馬、墨田、世田谷、品川、港、杉並、豊島

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	ひろば館・ふれあい館等関係各課との連携による身近な場所でのサービスの提供	子どもの読書環境の整備と図書館利用の促進
②	区内小中学校・学校図書館との連携強化	「生きる力をはぐくむ読書活動推進事業」による学校図書館と区立図書館との連携モデルの構築
③	区内小中学生への読書アンケートの実施	指標達成度の測定

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	子どもの読書離れの改善や国語力の向上のために、極めて優先度の高い事業である。

議会（要旨）	平成18年二定 「新たな子ども図書館の期待と親子で楽しめる読書環境の整備について」
--------	---